

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 159 号)

発行日：2020 年 (R2) 10 月 19 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会  
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788  
090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail：[maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)



暑い暑いと言っていた時から一気に秋に。西谷では暖房を入れる家も出てきました。今年の冬は寒さが厳しいとか。長期天気予報はアテになりませんが、寒すぎるのも困ります。化石燃料の消費も増えるし…寒いのに温暖化が進むというのも不思議な話ですが、気候の極端化のようです。

今年は西谷の秋祭りも神事のみのところが多く、寂しい実りの秋です。西谷地区は「素盞鳴命神社」(漢字表記は多少の違いあり)が多く、明治以前(廃仏毀釈前)は牛頭天王社(祇園社=八坂信仰)だったようです。神社の古い石碑(石灯籠)を見てみると「牛頭天王宮」と残っているものもあります。明治以降は本地垂迹説に従い牛頭天王(ゴズテンノウ)=素盞鳴命(スサノオノミコト)となったようです。(神道の立場からは神本仏迹説)

牛頭天王といえば「蘇民将来」の説話と結びつき病除けそのもの。本来ならこのコロナ禍にこそ「お祭り」と言いたいところですが、感染リスクの方が優先されるのも当然か。工夫して実施した地域もあるようです(巡行はなし)が来年は盛大な「太鼓」の響きが聞きたいものです。

いずれにせよコロナ禍によって文化的なものが縮小・簡素化されつつあります。コロナ後に復活するか？簡素化のままか？文化に対する考え方が問われると思います。

(今住 10月18日作成)

## 定期活動

★9月27(日) 定期活動 16名で活動 またまた新入会員！2歳のお子様と♡♡♡

なんと16名の参加！うちの会としてはかなりの参加率です。新入会員さんも。今回はお子様連れで来てくれました。しかも若い！これからの会を担っていただきたいものです。(プレッシャーをかけると辞めちゃうかな？仕事もあるしね～)そこはお気楽に考えていただいて、細く長くでOKです。よろしくをお願いします。

今回の作業は第3湿原木道脇・第1湿原西側ササ刈り。第3湿原は主に手作業。第1湿原は刈り払い機での作業となりました。いずれにせよ運び出しは手作業です。



まず駐車場に廃棄物を発見。ちよくちよくありますが、今回は水路に小型冷蔵庫が。見つけにくいと思い、水路から引き揚げ目立つ場所へ。翌日、その道に詳しい会員が市に連絡し回収されました。あとからの情報ですが、廃棄物はその場所にそのまま置いておくのが原則だそうです。なぜか理由はわかりませんが、廃棄者が見つかったときに場所が違うとか言い逃れができるのでしょうか？指紋とか？見つかることはないと思いますが。それとも触った時点で占有離脱物横領罪？そんなバカな！一つ勉強になりました。あんまり勉強したくない内容ですがね。

今回の作業は第3湿原木道脇・第1湿原西側ササ刈り。第3湿原は主に手作業。第1湿原は刈り払い機での作業となりました。いずれにせよ運び出しは手作業です。まず駐車場に廃棄物を発見。ちよくちよくありますが、今回は水路に小型冷蔵庫が。見つけにくいと思い、水路から引き揚げ目立つ場所へ。翌日、その道に詳しい会員が市に連絡し回収されました。あとからの情報ですが、廃棄物はその場所にそのまま置いておくのが原則だそうです。なぜか理由はわかりませんが、廃棄者が見つかったときに場所が違うとか言い逃れができるのでしょうか？指紋とか？見つかることはないと思いますが。それとも触った時点で占有離脱物横領罪？そんなバカな！一つ勉強になりました。あんまり勉強したくない内容ですがね。



湿原へ向かう道々にはキノコが出ていました。秋はキノコの季節。やはり名前はほとんどわかりません。雨が適度に降ればわんさか出てくるはず

種類不明のうまそうなキノコ

ですが、食用にはほとんどが不向き。食べられそうでも慎重に同定が必要です。毎回言っていますが、ちょっとならチャレンジも…いやいや絶対やめてください。

湿原へ向かう道は、ササなどが覆いかぶさり通行人には少し邪魔



かも。特に子どもには顔にササなどがあたり、歩きにくいかもしれません。いかにも歩道というのも気に入らないという意見も多く、今後検討が必要かと思えます。ご意見よろしくお願ひします。



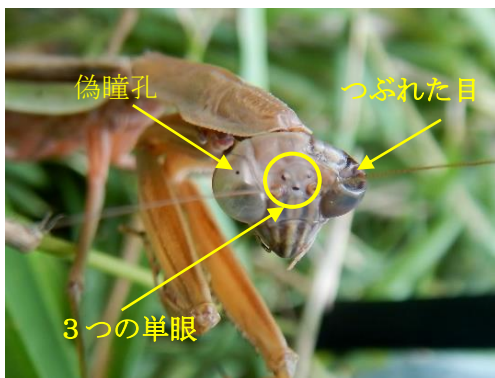
ササが被った歩道

第3湿原は手作業でできる範囲の木道周辺のササ等の刈り取り。隣では1台の刈り払い機がエンジン音を響かせていました。木道際はすっきり。ウメバチソウ開花時期に合わせていい感じに仕上がりました。

賑やかな作業風景 子どもがいい！

湿原内踏への踏み込みがないことを願ひます。第1湿原では3台の刈り払い機が活躍。第2湿原との分岐付近からすっきりとしました。秋の花が終わるとヌマガヤの刈り取りが今年も待っています。作業人数が増えてるし「お茶の子さいさい」と行けるか？「お茶の子さいさい」てなんや？

刈り取り中色々な生き物が出てきます。お馴染みオオカマキリ(大蟷螂)。片目を何かにやられたのかつぶれています。カマキリの目は不思議。複眼なのに黒目があるではあ～りませんか。どうということ？



調べてみると「偽瞳孔」というそうです。黒目で見つめられているように感じますが、角度によって黒く見える部分ができるそうです。しかし見つめられて(狙われて) いるように感じるし…ハンターやし。しかもおでこには単眼が3つ！「三つ目が通る」という漫画(手塚治虫)がありま

片目？のオオカマキリ したが関係ない。やっぱり「みなしごハッチ」(タツノコプロ)や。カマキリこわ～い。

と、はしゃいでいると今度はカエル君登場。パッと見たときはモリアオガエルと思いましたが、肌のツヤツヤ感と目の虹彩の色からシ



いたって真面目なササ刈り



シレーゲルアオガエル ♀

ュレーゲルアオガエル(シレーゲル青蛙)と認定。その時はモリアオガエルと言ってしまいました。ごめんなさい。

カエルの瞳孔もよく見ると面白い。ほんとに色々。最近瞳孔が気になるな～。私だけ？お年頃かしら？またまた思っていると「トンボの眼鏡」が登場。監督が写真撮影。画像を見ると「豚鼻」(私だけ言ってます)。マユタテアカネ(眉立茜)の♀。カマキリと同じ複眼。偽瞳孔は？よく見てみるとあるような…。自然は不思議がいっぱい。



ブタの鼻？眉？マユタテアカネ♀

解散前の駐車場でアケビ(木通)が気になりました。食べたい会員がいたので、木登りを披露。見事収穫となりました。クチベニマイマイ(口紅マイマイ)のおまけつき。瞳孔は？？？目といえるのか？角？槍？



帰ろう帰ろう いい天気

♪つのだせ やりだせ めだま～だせ～♪ やっぱり目玉か？



サル？いえいえ木登り名人



普通種 クチベニマイマイ



ミツバアケビの実 皮は肉詰めに

### 西谷小学校環境学習

★10月6日(火) フィールド1回目 児童10名 保護者7名 会員3名

環境学習2回目。いよいよフィールド学習です。今の子どもたちは山に入ることが無いからか、ワクワク感が伝わってきます。しかし、前回の座学から家族で来てくれたとも話していました。

私の子ども時代は、山に柴刈りの手伝いに行ったものです。1970年頃のことです。山は遊び場でした。柴刈り経験最後の世代か？それから山は荒れ放題に。

しっかり遊んでもらいましょう。保護者の参加も多く、授業参観のようです。一緒に楽しんでくれたらうれしいのですが。今回は「味わう」がテーマになったような…。ハッチョウトンボの季節に実施できなかったのでどうなるやらと心配していましたが、秋の実りがたくさんありました。

まず、高級食材「ヤマノイモ(山の芋) = 自然薯(じねんじょ)のむかご」。駐車場のフェンスに巻き付いているのをパクリ。むかごご飯や素揚げなどはよく聞きますが、生食には半信半疑の保護者。子どもたちは何の躊躇もなくムシャムシャ。食感といい味といい、申し分なし、保護者の皆さんにもおすそ分け。



コバノガマズミの実

ヌルデ(白膠木)やエゴノキ(野茉莉)の虫こぶも説明しましたが、やはり食べ物にはかなわない。

湿原へしゅっぱーつ！道草多くてたどり着けるのでしょうか？すぐに次の獲物。コバノガマズミ(小葉莢蒾)の実。真っ赤に色づき美しい。いかにも食べられそうです。やはりパクリ。ちょっと早いような気もしますが甘酸っぱさが広がります。大体赤い実は食べられるという噂。目立つことで鳥などに見つけてもらい、種を運んでもらう。戦略です。薬酒にされたり、染料にも使われていたとか。



高級食材ムカゴをムシャムシャ

次に出てきたのが和製ブルーベリー。ナツハゼ(夏櫨)の実。(ツツジ科スノキ属)「ブルーベリーやで」というだけで目の色が変わります。熟す程度の違いによって味のばらつきはありますが、山の物の中では相当美味しい。ハイカーや鳥たちと取り合いの果実。東北や信州で栽培され、ジャムなど加工食品として販売されているようです。さらに進むと、ナツハゼと同じ仲間のカンサイスノキ(関西酢の木)。「酢の木」というくらいですから酸っぱい。葉っぱね。ただ、ツツジの仲間は葉っぱがよく似ている。スノキと思っても違うことがよくあります。ウスノキ(臼の木)？ちとややこしい。よく似た葉っぱを食べてみて、酸っぱい味ならスノキ(西日本はカンサイスノキ)と思いましょう。花を見るとよくわかるようですがタイミングがね。カンサイスノキはお口直しに人気があったのか、一枝手にムシャムシャしていた子もいました。



ブルーベリー？ナツハゼの実



木の実に群がる老若男女



カンサイスノキ



ストローに適切なヌマガヤは...

ヌマガヤロングストロー 便利  
いるではありませんか。恐るべし 3 年生。

今後が楽しみです。湿原終わり。短か！締めはまたまた駐車場のアケビ。たまたま今年はたくさんありました。7 個？一人一つには数が足りず。先生の管理食料となり、給食の時間？に平等に分けて食べたとか。お味はどうだったでしょうか？ヌマガヤストローの使い心地は？このご時世、衛生問題でもめないことを願っています。責任は全て「丸山湿原群保全の会」が負いますのでご勘弁ください。お腹痛くならなかった？

さて次回は 2 月、どんな面白いことが待っているのでしょうか？ 楽しみです。

### 定期活動

#### ★10月10日(土) 定期基礎調査 6名で活動

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導度 (EC)	PH
丸山	73	41	入口	10:00	19.1℃		
ハイキング	15	17	第3湿原	10:34	【18.5℃】	30.0 μS/cm	7.1
散歩・登山	45	34	視点場	10:47	26.2℃	24.9 μS/cm	6.9
			第1湿原	10:55	【20.7℃】	27.2 μS/cm	6.9
			第2湿原	11:26	【19.9℃】	34.8 μS/cm	7.1

来場者数 計 225 人  
(竹筒ポスト人数)

台風の影響で雨予想でしたが、天候が急速に回復。昼には秋晴れとなりました。気温も急上昇。汗ばむほどに。会員が、昨年豊作（今年は皆無に近い）だったオオウラジロノキの実（小リンゴ）のリキュールを持参して配ってくれました。自宅を試してみるとほのかに香るリンゴのような香り。中々のお味のようです。（実は私飲めません。味見ね。）湿原は順調にウメバチソウが開花、まもなく満開の時期かと。花期は比較的長い。短いのがスイラン（水蘭）。黄色いコスモスのような花です。近い場所にないので観察には不向きか。

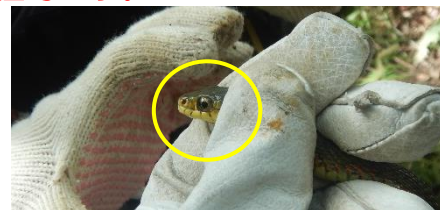


ウロコの下にもぐるダニ

帰り道またまたヘビを捕まえました。アオダイショウ（青大将）の黒色っぽいもの。ウロコに何が…。よく見るとダニ（壁蝨）。ヘビにダニがつくことを初めて知りびっくりしました。種類は不明。マダニ類？ヘビダニ？もいるそうな…

次回活動 10月25日(日) 11月14日(土) 22日(日) 12月12日(土)

その間ツルニンジン（蔓人参）=ジイソブを見たり「サワガニ（沢蟹）を探せ！」と言った瞬間に小川に飛び込んだり、いつまでたっても湿原にたどり着きません。その上ヘビまで登場。つつい…。ヤマカガシ（山棟蛇）、猛毒です。カエルなどを飲み込むときに奥牙から毒を出して消化しやすいようにしています。前の牙には毒はなく、しかもおとなしい。決して捕まえてはいけませんが、よく知れば危険は回避できます。参考までに観察してもらいました。初めて触る蛇の感触、どう感じたでしょうか？



ヤマカガシ 毒蛇ですよく知ろう

やっと湿原に到着。ウメバチソウ（梅鉢草）が咲き初め。ヌマガヤ（沼茅）も順調？に穂を出して来ました。成長したヌマガヤは莖に節がなく、ながーい中空になります。そうストローに。水につけてブクブク遊べます。そして今回は「給食の牛乳をヌマガヤストローでのもう！」と無責任なことを課題として言いました。ふと見るとすでに水筒のお茶をヌマガヤストローで飲んで



ウメバチソウ 美しい